

平成30年4月定例教育委員会 会議録

- | | | | | | |
|---------|-----------------------|-------|----------|-------|--------------|
| 1. 日 時 | 平成 30 年 4 月 2 6 日 (木) | | | 開 会 | 午前 9 時 30 分 |
| | | | | 閉 会 | 午前 11 時 30 分 |
| 2. 会 場 | 茅野市役所 704 会議室 | | | | |
| 3. 出席委員 | 教育長 | 山田 利幸 | 同職務代理者 | 矢崎 靖雄 | |
| | 教育委員 | 濱 勝之 | 教育委員 | 小林 俊恵 | |
| | 教育委員 | 小平 光子 | | | |
| 出席者 | 生涯学習部長 | 平出 信次 | こども部長 | 牛山津人志 | |
| | 学校教育課長 | 有賀 淳一 | 幼児教育課長 | 五味留美子 | |
| | 生涯学習課長 | 藤森 隆 | 文化財課長 | 両角 勝元 | |
| | 公民館長 | 矢島喜久雄 | スポーツ健康課長 | 中村 浩明 | |
| | 教育総務係長 | 渡辺 雄一 | こども係長 | 今井 明彦 | |
| | 生涯学習係長 | 伊藤 研一 | | | |
| | 教育総務主事 | 牛山 紘貴 | | | |
| 4. 傍聴者 | 3 名 | | | | |

4 月定例教育委員会次第

日 時 平成30年4月26日（木）午前9時30分から

場 所 市役所 704会議室

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 報告事項

第1号 教育長報告

第2号 各課からの報告

（1）学校教育課

（2）こども課

（3）幼児教育課

（4）生涯学習課

（5）公民館

（6）文化財課

（7）スポーツ健康課

第3号 教育委員会共催後援

（1）生涯学習課

（2）スポーツ健康課

4 議 案

（1）県教育委員会及び市町村教育委員会相互の連絡調整について

（2）茅野市社会教育委員等の委員委嘱について

5 検討事項

今回はありません。

6 その他

（1）教育委員会各部の経営方針と目標（平成30年度）について

（2）心のよつばのクローバープランについて

（3）小中一貫教育に関わる中学校区の重点事業について

（4）「育ちあいちの」の状況について

（5）学童クラブの状況について

（6）セカンドブックの手渡しについて

（7）茅野市天然記念物「神長官邸のみさく神境内社叢」の毀損について

（8）人事異動に伴う教育委員会会議録作成に携わる職員の指名について

（9）台湾音楽交流会の開催について

次回定例教育委員会日程について

5月25日（金）午前9時30分「702会議室」
（事務局会議 5月11日（金）午前9時00分「705会議室」）

7 閉会

教育長

只今から4月定例教育委員会を開催します。

それでは前月の3月の会議録の確認をします。承認に入りたいと思いますが、よろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

異議ないようですので、委員会終了後に署名をお願いします。

では、報告事項に入ります。報告事項の第1号をご覧ください。

1日に中央公民館オープニングセレモニーがありました。150人以上の方が来られました。オープニングセレモニーの後には公民館の2階でそれぞれの団体の方の発表があり、こんなにも市民の皆様が公民館活動を中心に行っているということを実感しました。大事な活動ですのでしっかり支援していきたいと思います。

2日に新任の校長先生の辞令交付式がありました。その後に中央保育園とみどりヶ丘保育園の入園式に行きました。子どもたちがとても落ち着いている事と、年少より下の子はお母さんと離れると泣いていましたが、保育園の先生方は子供たちを自然体のままで受け入れている、そのような姿勢は小中学校でもとても参考になると感じました。

教育委員会関係の辞令交付式が2日、3日にありました。

3日に育ちあいの除幕式があり、市長さんと副市長さんがお見えになられて、除幕を行いました。

5日に長峰中学校入学式と泉野小学校入学式がありました。子供達は新鮮な気持ちで「頑張るぞ」という気持ちを持って入学をしてきていました。

6日には茅野高校の入学式がありました。非常に落ち着いた雰囲気の入學式で、頷きながらよく話を聞いていました。茅野高校の子供たちは変わり始めていると思います。校長先生も代わられましたが、地域と共にある高校作りを式辞で揚げられていました。

その後に聖母幼稚園の入園式がありました。聖母幼稚園もしつとりとした雰囲気です、とても良い式でした。

7日にゴルフ場のオープニングがあり、今年度は2万人の来場者を目指しているそうです。

8日にミヤマシロチョウの会の総会がありました。ミヤマシロチョウの卵が絶滅状態で、自然孵化は不可能であるという報告があり、様々な原因が重なりこのような状態になっているそうです。

10日に今年度初めての司書の先生の司書会と園長会がありました。

11日に台湾とのテレビ会議があり、校長先生が入れ替わられたということで、紹介をメインに行いました。

12日にこども育成会全大会が夜の9時から行われました。各地区の育成会の方が来ていただいて、研修を積みました。

14日に長野県駅伝結団式がありました。小学生が6名、大人が8名出場します。体育協会の会長さん曰く今年は成績が期待できるそうです。

16日に豊平小スタートカリキュラムがありました。先ほどお話した通りです。

17日に生涯学習部での今年度の重点政策のヒヤリングがありました。市長さんに対してのヒヤリングになります。

18日に要対協と市町村教委連絡会がありました。

19日におはなし玉手箱贈呈式があり、総合博物館へ行ってきました。録音の声はドリームインちの方と機械を作ったのは市民研究員の方です。総合博物館でおはなしの読み聞かせを玉手箱でやることで、今までの博物館のイメージを変えていく要素があると感じました。

20日にこども部の重点ヒヤリングと文化財審議会がありました。

21日に長野県華道教育会諏訪支部展示会オープニングがありました。11の流派の69人の先生が生け花の展示をしました。

23日に福祉教育委員の方に「育ちあいちの」の説明を2時間ほどし、意見交換をいたしました。

また、宮川小学校を訪問し、英語の先生の秋先生から山岡先生に代わってからの様子を見に行ってきました。英語では担任の先生が原則やることになるので、担任の力をつけるという事が一番大切だと感じました。山岡先生には頑張ってください、担任の英語力を付けてもらいたいと思います。

24日に永明小訪問をし、朝読書を見てきました。

本日はロングモントの結団式があります。8名の選定となり、今年度は中学生のみとなります。意欲的に参加したいと言っている子供達です。

27日には転入職員読書研修会があります。

私からは以上になります。

ご質問等ありますか。

無いようですので、次に報告事項第2号「各課からの報告」に移ります。お願いします。

[各課から5月行事予定について報告]

資料(報告2号)

教育長

次に報告事項第3号、教育委員会共催・後援についてお願いします。

[生涯学習課から教育委員会共催・後援について報告]

資料(報告3号)

教育長

報告事項について何かありますか。無いようですので次に移ります。

議案第1号「県教育委員会及び市町村教育委員会相互の連絡調整について」、お願いします。

学校教育課長

県教育委員会及び市町村教育委員会相互の連絡調整についてです。

内容については長野県教育委員会と市町村教育委員会は全県的視野に立って教育行政の適正かつ円滑な運営を図るために教職員の任免その他の進退等について了解事項を取り交わすといった内容です。毎年、教育委員会で議決後に6月1日から次の年の5月31日までの間これを実施するものとなっています。

内容としては、①教職員の任免及びその他の進退について ②平成31年度教職員人事異動の基本方針について ③①及び②の取り扱いについては、別紙覚書によって適正に行う。④人事の仕組みの検討について ⑤人事異動方針の見直しについて 以上の内容となっています。昨年と大きく変わった部分はありません。

私からは以上になります。

教育長

質問等ございませんか。

次に議案第2号の茅野市社会教育委員等の委員委託についてお願いします。

生涯学習課長

茅野市社会教育委員についてですが、3月には未定でしたが4月になって東部中学校の笠井校長先生に委員委嘱が決まりましたので報告という形でお伝えします。

文化財課長

茅野市博物館協議会名簿では柄澤先生がここで交代になります。それ以外の方は変わりありません。

公民館長

茅野市公民館運営審議会委員名簿では校長会の臼井さん、市 PTA 連合会の伊藤さんが新任となります。他の方は継続となります。

教育長

ご質問等ございませんか。

次にその他 1 「教育委員会各部の経営方針と目標（平成 30 年度）について各部長と私から説明させていただきます。

まず私から茅野市教育の経営方針と目標について説明させていただきます。

資料説明（その他 1）

【概要】

I 経営方針

「21 世紀を切り開く豊かでたくましく、やさしい、夢のある、人育ちの茅野市教育」の実現を基本目標とします。

II 各部の重点取組

- 1 子ども・家庭への支援・応援を図り、幼児教育を充実させます。
- 2 次世代を担うひとづくりのため学校教育を充実させます
- 3 こども課（発達支援センター）幼児教育課、学校教育課の 3 課横断体制による 0 ～ 18 歳までのこども・家庭総合支援拠点「育ちあい ちの」による支援
- 4 3 学習機会の充実と場の提供に努め生涯学習を充実させます

※以上の、重点取組の推進と各部・各課の横の連携の仕組みづくりに努めます。

こども部長

資料説明（その他 1－1）

1 経営方針

こども部では教育長が策定した教育委員会の経営方針と 3 つの重点取組に基づき、こども部では、「21 世紀を切り開く心豊かでたくましく、やさしい、夢のある人育ちの茅野市教育」を進め、子どもたちの「生きる力」を育むため、「子ども・家庭への支援・応援」、「次世代を担うひとづくり」に積極的に取り組みます。

第 3 次こども・家庭応援計画（どんぐりプラン）を推進するため、どんぐりネットワーク茅野やコミュニティスクールに代表される子育てネットワークの活性化を進め、地域全体がゆるやかな責任共同体として子どもを育てる環境づくりに取り組むとともに、家庭児童相談室機能を包含したこども・家庭総合支援拠点「育ちあい ちの」を設置し、ケースワ

カー、臨床心理士、保健師等の専門職とスクールソーシャルワーカー等を配置することにより、0歳から18歳までの継続的かつ包括的な支援の強化に努めます。

また、読書教育をベースに、幼保小連携、小中一貫教育、英語教育、ICT教育等の充実や、知・徳・体・食のバランスの取れた教育の推進を図ります。

更には、子育て支援施設や学校教育施設の整備をするため、保育園管理計画に基づいたリノベーションの実施や小中学校管理計画に基づいた小・中学校の整備に取り組みます。

この方針のもと、こども部は、次の11事業を重点取組とします。

- (1) 発達障害等相談支援事業
- (2) こども・家庭総合支援拠点事業
- (3) 病児・病後児保育支援事業
- (4) ファミリー・サポート・センター事業
- (5) 保育所施設整備事業
- (6) どんぐりプラン推進事業
- (7) 保育所運営費事業
- (8) 教育委員会運営事業
- (9) 小学校情報教育推進事業
- (10) 中学校情報教育推進事業
- (11) 永明小中学校建設事業

生涯学習部長

資料説明（その他1－2）

1 経営方針

個人のライフスタイルや価値観が多様化し、地域の課題が増々複雑化しています。人口減少社会、超高齢社会、防災・災害への対応、子どもの貧困や学校との連携など、避けて通れない新しい地域の課題が生まれています。こうした課題を解決するために、家族や地域コミュニティを問い直し、地域の連帯を大切にするとともに、生涯学習の成果を地域に活かす「地域づくり・ひとづくり」の取組が求められています。

生涯学習分野では、生涯を通じての学びを通して人と人とがつながり、信頼関係や仲間をつくる活動を大切に、地域全体で協働し、支え合うための生きる力を育てていきたいと考えます。

平成30年度は新たな総合計画のもと「茅野市教育大綱」に掲げている「たくましく、やさしい、夢のあるひと育ち」を実践するため、「いつでも」、「どこでも」、「だれでも」生涯にわたって継続して学び続けられる環境の整備の充実をめざし、その学習成果を活かす取組を推進していきます。

まちづくりはひとづくりから始まります。自らの資質を高め、能力をいかし、目標に向かって努力するひとの『生きる力』を育てる学習を支えることで、未来を切り開き、創造力あふれるひとづくりをめざすとともに、その活動を支えていきます。

この方針のもと、生涯学習部は、次の主要事務事業を重点取組とします。

- (1) こども読書活動応援センター事業
- (2) 市民参画参加型社会の推進
- (3) 公民館講座事業
- (4) 図書館施設管理事業
- (5) ハヶ岳総合博物館開館 30 周年記念事業
- (6) 尖石遺跡範囲確認調査事業
- (7) 史跡整備・管理事業
- (8) 総合体育館・運動公園の施設管理・整備事業
- (9) 文化・芸術活動の推進
- (10) 国際交流の推進

教育長

ご意見等ございませんか。

次にその他 2・3 の「心の四つ葉のクローバープランについて」と「小中一貫教育に関わる中学校区の重点事業について」を私から説明させていただきます。

幼児教育・学校教育を中心としてみた茅野市教育の概念図（素案）が資料としてあります。茅野市教育の仕組みとして幼・保・小・連携教育、小中一貫教育を一番大きな仕組みとして、その仕組みを支えるものとして幼保小中一貫教育のすべてを貫き、読書図書館教育を位置付けています。小中一貫教育では、豊かな学び合い・発達段階に即した教育がこれまでの柱でしたが、そこに心の四つ葉のクローバープランを心の教育の面として付け加えました。実際の今の子供達の様子を見てみると、大きな問題は無いように見えますが、心を悩ましている生徒や、数年経った子供たちの心の育ちというものを考えたときに、一つ心の教育というものを正面から支える必要があるのではと考えました。

具体的にどのようなものかと言いますと、心豊かで…道徳教育は、子どもたちの心情・課題に基づいた考え議論する道徳として位置付けています。たくましく…生活生徒指導では仲間同士が認め合う集団づくりと生活づくり・生徒指導として今、教育委員会の方と検討しているところです。やさしい…いじめ撲滅・対応では、仲間集団づくりとソーシャルボンドを基盤とした、いじめ対応ということで、いじめが起きても自分たちでも解決できる集団づくりをつくることが重要だと思っています。ゆめのある…不登校対応では、どの子にも居場所のある学校づくりと丁寧な指導・支援をしていく必要があるという結論に至りました。これが四つ葉のクローバープランです。

今後の進め方としては各学校の実態に合わせて各学校で様々な取り組みをやって頂こうと思っています。

また、各中学校区の重点事業として、次のような事が生まれてきています。

永明中学校区では、質の高い授業・学校をめざす業務改善。長峰中学校区では、すべての子どもに学力保障を。東部中学校区では、子どもたちの学びを生み出すインクルーシブ教育。北部中学校区では縄文市民科の創成を重点事業として行います。

以上が心の四つ葉クローバープランについてと、小中一貫教育に関わる中学校区の重点事業についてになります。

私からは以上になります。

次に「育ちあいの」の状況についてこども課長をお願いします。

こども課長

こども・家庭総合支援拠点「育ちあいの」についてご説明させていただきます。

平成29年4月施行の児童福祉法第10条の2に市町村における支援拠点の整備が明記され、児童及び妊産婦の福祉に関し、必要な支援を行うための整備に努めることとされ、児童虐待発生時の迅速かつ的確な対応が求められました。

茅野市では、虐待発生時の対応体制強化だけでなく、発生予防が重要であると考え、すべての児童が良好な環境において、その心身の健やかな成長及び発達並びにその自立が図られるよう支援するための体制強化を行い、成長とともに変化する問題や発達程度に応じて生じる問題に迅速かつ適切な支援が行えるよう、要保護児童対策地域協議会機能を有効活用できる支援拠点の設置「育ちあいの」として相談支援体制を充実させました。

こども・家庭総合支援拠点「育ちあいの」は、専門性の強化のため、従来の家庭児童相談室と発達支援センター機能を包含させ、こども達が所属する学校等の支援をコーディネートする統括コーディネーターと教員資格や保育士資格を有する家庭児童相談員を新たに任用し、スクールソーシャルワーカーの配置換えを行い、こども・家庭に関する複雑な問題に対応できる体制と機能にしました。

保育園や学校で起こる問題は家庭も含めて支援しなければ改善することが難しいため、保育園・学校への支援も強化していきます。

特に自我が確立し、個々の特性が表出してくる小・中学校に対して統括コーディネーターを中心に、早い段階で問題を吸い上げ、適切な支援を実施していくことで重大で複雑な問題にならないように支援チームを組んで対応しています。

また、教育委員会にこども部門が集約されていることから、幼児教育課、学校教育課とこども課が一体となり、教育・福祉・保健の連携や情報共有、協働がスムーズに行える環境です。

職員配置ですが、統括コーディネーターとして曾根原先生に来ていただいています。家庭相談員は2名で北澤先生と藤木先生に来ていただいています。スクールソーシャルワーカーを学校教育課から配置換えを行い、山岡先生と牛山先生に来ていただいています。

発達支援センターには、教育支援指導主事に行田先生を配置しています。教育指導主事（幼児教育課兼務）に帯川先生に、事務員に平出先生をお願いしております。

次に拠点での相談・支援の流れをご説明させていただきます。

拠点での相談・支援の流れは、こども・家庭に関する相談・支援窓口を1本化し、「育ちあいの」に入った相談事案を拠点配置職員や関連する課の職員で受理会議を行い、情報収集を行いながら関係者会議を開催し、支援方針を決め、役割分担を明確にしてチームで支援を開始していくといった取り組みになっています。

次に愛称についてですが、市民の方が気軽に相談しやすい窓口、学校が問題を伝えやすい窓口となるように、愛称を公募し、158通の公募の中から「育ちあいの」が選ばれました。それぞれの育ち合いと愛情が表現されており、看板には🍀を添え、やわらかさと親しみやすさが表現されています。

私からは以上になります。

教育長

学校現場における業務改善加速事業は私からご説明させていただきます。

県としての研究課題は関係機関と連携し、保護者や県民を巻き込み、「長野県 学校における働き方改革基本方針」に基づく取り組みを着実に実行し、教員の働き方を大胆に改革する。これが県事業の中心となります。具体的内容は、モデル地域リーディング校での教員加配による分業化、協業化の実践研究。モデル地域における部活動指導と学校徴収金会計業務の負担軽減、県共通仕様の統合型校務支援システム導入の実践研究の2本の実践研究で県としての業務改善の方法をつくっていくという考えです。

統括コーディネーターを永明中学校に1名、永明小学校に1名配置しています。

ご質問等ございませんか。

次にその他5学童クラブの状況について学校教育課長からお願いします。

学校教育課長

資料の訂正からお願いします。第二永明小学校学童クラブの配置職員数が3人になっていますが、4人の誤りです。それに伴いまして、配置職員数の総数が41名に訂正となります。

平成30年度の学童クラブの状況ですが、平成29年度4月の入所数が507名に比べまして本年度の入所児童数は571名と14%の増となっています。内訳ですが、全ての学童クラブが増えている状況です。但し、米沢の学童クラブは昨年39名で本年度は38名と減ってはいますが、ほぼ横ばいとなっています。

全国的に見ても6年生まで拡充しているということと、女性が働く機会が多くなってきたことが増えた理由の一つです。また、全国的には待機児童が発生している状況です。県内で見ても平成28年度の統計によりますと、32名ほどの待機児童がいたわけですが、茅野市においては待機児童はいません。

学童クラブについては以上になります。

教育長

ご質問等ございませんか。

次にセカンドブックについて生涯学習課長お願いします。

生涯学習課長

セカンドブックの手渡しですが、市内全小学校9校での手渡し日・手渡し時間は記載通りとなります。当日の細かい日程は案内がいきますのでそちらで確認をおねがいたします。

私からは以上です。

教育長

ご質問等ございませんか。

次に茅野市天然記念物「神長官邸のみさく神境内社叢」のき損についてお願いします。

文化財課長

神長官邸のみさく神境内社叢が茅野市の天然記念物になっていますが、その中のカヤの木が4月6日の午前11時頃、当日の強風によって倒れてしまったということです。

き損の状況ですが、樹木中程で2股に分かれる幹の1本が折れました。また、カヤの倒木に因って、クリの枝一部が折れました。

現在の状況としては、金子園に依頼し、折れた幹を下ろし、輪切りの状態にしました。また、折れた幹の撤去と既存カヤの養生及び費用見積もりを金子園に依頼しています。

4月20日に文化財審議委員会にて現地視察をし、状況を報告させていただきました。私からは以上になります。

教育長

質問等ございませんか。

次にその他8とその他9について学校教育課長お願いします。

学校教育課長

人事異動に伴う教育委員会会議録作成に携わる職員の指名についてということで、平成30年4月1日付の人事異動に伴って、職務分担を学校教育課の中で変えさせていただきました。今まで議事録に携わっていた丸茂直樹に代わりまして牛山紘貴が教育長から指名されましたのでお願いしたいと思います。

次にその他9の台湾音楽交流会の開催について説明させていただきます。

本年度、台湾の高雄市、新興高級中学校から申し入れがありまして、市内4中学校と新興高級中学校の交流演奏会を開催する運びとなりました。

30名程度の高雄市青少年交響楽団が来日しまして、茅野市内中学校吹奏楽部との演奏会を行います。

開場は午後18時から、開演は午後18時30分からになります。

こちらの詳細はまた改めて通知させていただきたいと思います。

交流演奏会のポスターは東部中学校の美術部の生徒に作成をしていただきました。何件か作成していただいた中から学校教育課で投票を行い、決定を致しました。

私からは以上になります。

教育長

ご質問等ございませんか。それでは最後に事務局から日程をお願いします。

教育総務係長

5月の日程になります。5月の定例教育委員会は5月25日（金）午前9時30分から702会議室で行います。事務局の会議は5月11日（金）午前9時から705会議室で行います。以上になります。

教育長

ご質問などありますか。それでは、以上で4月の定例教育委員会を終了します。

茅野市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定によりここに署名する。

平成 30 年 5 月 25 日

茅野市教育委員会 教 育 長

同職務者代理

委 員

委 員

委 員

こ ども 部 長